

## 第3回市民総参加のまちづくりサロン会議録

平成19年6月27日

午後7時～8時30分 イルフアミュージズメントプラザ2F

ミーティングルーム

市民参加者 26人

市側参加者 6人

### ■開会

### ■岡谷市民憲章唱和

■市：(前回どんな話し合いが行われたか、5分ほどで簡単に説明)

■意見交換：前回に引き続き、グループに分かれて進行。

テーマ「健康・福祉・子育てなどについて」→希望者8人

「環境・ごみ・景観などについて」→ 8人

「街の賑わい、活性化などについて」→ 10人

## ○健康・福祉・子育てなど 参加者8人

○イルフカルチャーセンター4階の「こどものくに」について、3歳までしか利用できない。ただし兄弟姉妹で下の子どもが利用できる年齢であれば、上の子どももいっしょにいることはできるが、年齢が大きくなると遊具が物足りなくなる。

- ・ 4階全部を「子育て支援センター」にして、保育園児も一緒に遊ぶことで、縦のつながりができるのではないか。
- ・ 発想転換させて、3階4階を支援センターにしたらどうか。(しかし、3階は高校生等のたまり場というイメージがあり、環境が悪いと言う人もいる。)
- ・ ララの空きスペースを利用。ララを活かしてほしい。

○郊外に子ども同士が遊べる場所がほしい。(安全、わんぱくに遊べる場所)

- ・ 定年後の人に見てもらおう。
- ・ あやめ基地の活動を他の地区にどんどん増やしてほしい。(西堀ラムラム広場)

田中小の教室や校庭で午後3時から5時まで週1回集まって遊んだり勉強したりする。必ず親が迎えに来ることになっている。子どもたちはのびのびと遊んでいる。親も一緒に入って遊んだりしている。

立ち上げにあたっては非常に苦労した。

行政に立ち上げてもらおうとスムーズに事が運びそうだが・・・

→行政が立ち上げることは簡単に出来たとしても、実際の運営は地域が行うこと

になる。いざ始まったら運営する人がいないなどなりかねない。「市民総参加のまちづくり」からいっても、地域で立ち上げたほうが実情にあった事業ができるのではないか。

- ・ ミニ公園を地域に。
- ・ 各地区の実情に合わせた場所を提供してもらいたい。(休耕地、学校、空きスペース)
- ・ 大人が地域づくりをする(お祭りなどの開催)

○保育園近くの道路や横断歩道で交通安全指導をする母親等に対して、指導方法についてどこかでサポートしたらどうか。子どものお手本となる母親等が正しい指導をしていないように思われる。

## ○環境・ごみ・景観など 参加者 8 人

(市) 清掃工場は建設から 21 年が経過し、次の建設には 7 年が必要。それまで今の施設が使えるか分からないし、現実にごみは増えている。市指定の袋にした時、2 割減ったが、今は元に戻ってしまった。施設が大きくなるとごみが増えるのではなく、市民意識が重要と考えている。

- ・ ごみを減らすことは意識の問題である。施設を新しくしたらごみは増え、減量は難しいと思う。なぜ必要か説明が必要。
- ・ 新しい清掃工場の計画を知らない市民が多い。市民がごみの問題を考える機会が必要ではないか。
- ・ 市の人口が減っているのにごみが増えるのはおかしい。ここでいい考えを出せないか。
- ・ 24 時間ごみを燃やし続けるのはどうか。その分施設を小さくできないか。

(市) 今より量を減らすことをベースに考えている。計画の処理量 140 t は 24 時間燃焼の場合である。

- ・ 現在の施設を使い、計画を先送りできないか。ダイオキシンなどの問題があるなら改修すればいい。
- ・ 自分の市から出たごみは、自分の所で処理するのが基本ではないか。3 市での施設建設はおかしいのではないか。
- ・ 10 年ほど前、世田谷区で施設を建設する話があったが、反対で凍結になった。ごみ減量に成功したようであり、今もそのままのはずである。市民の議論が足りないと感じる。
- ・ 市民にこんな負担が生じるという例を示したらどうか。
- ・ 減量と有料化を市民で議論する機会を作ったらどうか。
- ・ 分別に関して市の指導が足りないと感じている。違反ごみへの指導はしているか。

(市) 違反ごみはたいてい出した人が不明で、警告のシールを貼っても意味が無い。回収しないと苦情が来てしまう。

- ・ 指導員制度を作り、一から始めるのはどうか。自分たちが発信し、何かに取り組みたら

いい。埋め立ての施設はあと何年くらいもつのか。

(市) あと 8 年ほどである。次の清掃工場はスラグ化を目指しているので、埋め立ては必要なく、道路の路盤材になる。埋め立ての量は今と比較して 10 分の 1 にできる。施設の耐用年数は 15~20 年である。不燃物は今まで通りである。

新しい施設の処理量は減量を前提としているので、減量できなければ高い処理料を払い、市外に持っていくことになる。

(市) ごみの減量に成功した徳島県上勝町は、自分で処理施設にごみを持ち込む方式。資源化率は 60~70% と言っているが、可燃物は町外に持っていく。

・将来、20 年後、40 年後の次の清掃工場を建設することを皆で考える必要がある。努力する機会が必要である。建設はそれからでも遅くないのではないか。

・自分の負担が増えることを意識する必要がある。

・鮎沢地区のような、ごみ減量のモデル地区を増やすことはどうか。

## ○街の賑わい、活性化など 参加者 10 人

<前回サロンでの市側への質問についての回答からスタート>

(企業流出の理由について)

・これまでの市の発展に合わせて、中小企業が約 3,000 社もある工業のまちとして企業も育ってきた。屋内工場など零細企業であった工場が、事業拡大のため工場を拡張しようと考えても市内の状況は住宅と工場の混在が多く、まとまった土地がなかなか見つからない。このような地域的な要因が 1 つとして考えられる。

また、事業者としては、予定される資金でより広い用地を確保し、より少ない資金での用地確保を選択せざるを得ず、南信地方など地価のより安い地域を選択し、面積と価格による要因も考えられる。このようなことが企業流出の要因として考えられる。

なお、担当としても様々な対応を図っており、塩嶺など工業団地の造成や企業への補助制度、今年度は市内工場用地の確保のための工場適地調査に取り組んでいる。

(マンション購入者の状況について)

・市街地に 3 棟のマンションがあり、そのうち入居済みの 2 棟についての入居者は、中央通り近くのポレスターは市内 3 分の 2、市外 3 分の 1、県道沿いのアーバンシティが市内 8 割、残りが市外となっている。個人のプライバシーもあり市で把握しているのはここまでである。

(ララオカヤの利用状況について)

・ララについては現在 1 階を利用し、2 階、3 階は施設管理面や、権利関係などから使われていないが、昨年の災害に伴い全国から大量の支援物資が届き、暫定的な防災倉庫として利用している面もある。

1 階については、チャレンジショップ、レンタルボックス、イベント広場などそれぞれ

が利用されており、活性化や利用促進のための取り組みを行っている。

(意見交換)

- ・戸建の生活は、雪かきや近所づきあいなど大変で、(マンション生活も) 80歳近くになると考える。
- ・(市) 最近のマンションは、ベランダがかなり広い造りで庭のように使えるようだ。
- ・ララが今のままでは、固定資産税は入らない。夕張みたいにならないようにするには。
- ・(市) ララについては、再整備を検討している。それまでの間は今の状況で利用していく。
- ・駅南、カルチャーセンター、福祉センターなど、公共施設を造ると固定の税金など上がるものが上がらない。処分するものはするべき、お金になることをやるべき。
- ・ララにマンション造るといった一般質問があったが。
- ・(市) 町の中を活性化するための手法としてのマンションで、現在では大きなショッピングセンターは全国的に長くは続かない。人が住むことを考えていきたい。
- ・ララを取り壊して整備することが決まっていることなら、ここで一生懸命考えても無駄になる。今のままで使えばいい。青森の駅前とか再整備の例もある。今のカルチャーセンターの部屋は中々確保できない。カルチャーの分室みたいにして利用したらどうか。
- ・カルチャーの利用料金も安すぎる。100円とか50円で、そんなに安くする必要はない。営利目的はしっかり取っている。電気料にもならない。
- ・ララの敷地は市のものか。
- ・(市) 約30人位の権利者で9割位が市のもの、共有である。
- ・ララの今の状況を変えていくことは行政だけではできない。
- ・再整備について新聞に出ていたが、権利者はみんな了解しているか。
- ・活性化をやっていくことについては同意している。
- ・ララの検討はできるか。
- ・公共施設の有り方を検討する市民会議もできたが。
- ・(市) 今の時点では再整備を検討している。
- ・岡谷駅を降りても食べる場所がないと言われる。ヨーカドーの時は結構行っていた。カルチャーもあった。カルチャーに寄って買い物して食べて帰った。カルチャー的なものをやって人を呼び買ってもらう、食べてもらうことに繋げていけばいい。
- ・とにかくお客がない、ただ通過してしまっている。
- ・企業の流出について、適地がない、親企業がなくなるといった要因がある。400位は流出している。14億円規模のトーハツが流出することは、2~3,000万円の商いなら70件分に相当する。企業によっては労組交渉がだめなら出ることできない。経営者が出たいと決めた後では遅い、行政との密着した関係が必要である。
- ・商工業との情報交換がどこまでできているか。
- ・(市) 行政側としても、企業との関わりを保つため色々な取り組みをしている。工場用地

の確保に対して一緒に探していくことや工業団地の造成など。今年度は市内のどこに工場適地があるかを調べる工場適地調査も実施していく。

- ・ソーデ長野も今は線路の上下に立地していて事業拡大などでこれから問題になると思う。
- ・(市) 人が住めるところにこれだけの密度で住んでいるのは、岡谷と下諏訪位しかない。可住地面積の人口密度が県内2位であり、昔から人が集まってきた。
- ・このサロンで企業のことを問題にしても大きすぎるので、身近なところで話したらどうか。
- ・心臓の手術をした者にとって、休めるところがほしい。憩いの場やサロンなど。
- ・この前の富岡の話で、お茶を飲んで、おばちゃんが出て、漬物を出してくれる。そんなところがあれば。
- ・信州新町にも誰でも入れてお茶が飲めるところがある。
- ・誰かがいないと人は来ない。
- ・松本でお茶をどうぞ、椅子をどうぞ、トイレをどうぞというステッカーを作って貼ってあるお店は人が来たら利用できる。
- ・美容院で室内犬なら連れて行っていいお店がある。
- ・スポーツカフェと同じように、自由に立ち寄れる場所を造りたいが、人もお金も掛かる。それなりに良いものがないと人は来ないし、個人でやるなら宝くじでも当たればできるけど。
- ・サークル活動を8年やっているけど、会費もあるけど自腹を切っている。人手は必要。
- ・中央通りにみんなが集まるものを作りたい。子育てしている人は預かって、1時間、2時間でもいいから映画見たり、買い物したり。でも現実として自分にも仕事はあるし、変な人の溜まり場になっても困る。NPOやボランティアもあるが、稼いではいけないのは間違っている。
- ・スタッフがいればお金は掛かる。市が2分の1補助で3年くらい出してくれたとしても、半分は出さないといけない。
- ・長く続かせるためには、何かが必要。
- ・イルフのカルチャーが使えない。かなりハイツに流れている。ハイツは遠いがララなら近い。
- ・中央通りを根本的に変えていく方法が必要、あの斜めの道ではだめだ。これはあの場所でやっている人達が考えないといけない。
- ・みんな高齢化して、今の人達では無理、辞めていく人も多い。60歳から70歳がほとんど。
- ・中央通りのイメージチェンジは必要
- ・中央通りを利用しているが、イルフプラザで流れが止められてしまった。水の流れではないが、兩岸の流れがいいところで止められ、通る人がいない。今更どうこうできないが。

- ・若い人達が跡を継ぐかといっても継がない。昔の中央通りは凄かった。人、自転車、銀行の通りも栄えていた。
- ・地元の商業者に客を集めるには、そこで完結した方がいい。同じ商売ではだめ。いろいろな物が入ってくればいいが。
- ・同じ店でも比較したりできるので、人は行くこともある。
- ・通りに駐車場が無いことも問題である。

(8時20分～、3グループの代表が話し合いの内容を1分ほどで発表。)

- 参加者 私たちの会のPRだが、7月29日(日)、釜口水門付近でアレチウリの駆除を行う。皆さんにもぜひ参加していただきたい。
- 市 第4回サロンは7月30日(月)に、イルフカルチャーセンター第1多目的ホールで、午後7時から行う。

(終了 8時30分)